

## 編集後記

「インフォメーションテクノロジーセンター年報」は昨年度より発行され、今回は第2号となります。今号も学内の教員から広く原稿を募り、ITに関する技術、ITを利用した教育手法を中心に原稿を掲載することになりました。今号の内容が教職員の皆様の教育や研究に役立てる機会が少しでもあれば幸いと感じています。

近年のネットワーク環境の発展は凄まじく、iPhone、iPad、アンドロイドOSを中心とするスマートフォンやタブレット型PCの普及とともにFacebookやTwitterなどのリアルタイム性が要求されるSNSの利用が急速に増えて来ています。今後の情報システムを取り巻く環境から、大学内でもこれらの利用を可能とする環境の改良を進めていく必要があります。例えば、全学規模でのデータベースのクラウド化やFacebookを利用する大学の広報活動などは他大学でも積極的に行われており、関西大学でも今後検討に値する事項だと思われます。一方で、セキュリティが今まで以上に大学の名を貶める問題を含んでおり、現在でも学外からの攻撃への対処が大きな課題となっています。ITセンターではトラブルの対応策を事前に検討した上で、継続的に情報システムの改良や新システムの導入を行っています。学内の情報システムの利用において、教職員の皆様には不便をかける機会も多いと思いますがご理解頂くとともに、セキュリティにつきましては十分気をつけてご利用頂きますよう宜しくお願い致します。

平成24年度より2ヵ年計画で千里山キャンパスでは大規模な学内の無線LAN工事が始まります。工事の完了から、逐次、教職員や学生が利用できるようになります。一方で、平成23年度の後期より千里山キャンパスで、ネットワークのギガ化工事が行われており、2～3年を掛けて千里山キャンパスの全校舎で高速なネットワーク環境が利用できるようになります。この環境の変更に併せて、学内のネットワーク運用方法が変更されます。現状のネットワーク利用では（基本的に）各コンピュータにグローバルIPアドレスが割り当てられています。新しい運用方法では、（プライベート）IPアドレスを自動的にコンピュータに割り当てる仕組みを採用しています。このため、今後は各教員でIPアドレスの管理は不要となります。また、コンピュータをネットワークに接続する際、利用者の認証（IDとパスワードの入力）が必要となります。この変更により、個人所有のコンピュータを持ち込んだ場合でもIPアドレスの設定なしで容易に学内のネットワークに繋げ、利用できるようになります。これは、無線LANの利用環境を考慮して利便性を高めるとともに、学内LANのセキュリティ強化のために必要な機能です。皆様にとって、運用変更後は面倒と感ずることがあるとは思いますがご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

最後になりましたが、執筆を賜りました諸先生方や職員の皆様方に厚くお礼申し上げます。今後とも、ITセンターでは教職員の皆様との結びつきを強く持ち、学内の情報環境を有意義なものにしていきたいと考えています。学内の情報システムにつきまして、ご意見、ご要望がございましたら、ITセンター事務もしくは各学部選出のITセンター委員にご相談下さい。

これからも皆様方のご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2012年3月

(ITセンター副所長 荒川 雅裕)